



# 持続可能な山の暮らしを考える 土佐塩の道 SDGs勉強会



古道「塩の道」が通る沿線地域の多様な暮らしを背景に、地域の課題解決をSDGsの視点からとらえ、持続可能な社会と山の暮らしの目標を作る4回シリーズのウォーク体験付き勉強会です

第3回

**11月7日(土) 9:30~受付 10:00 開始 12:30終了**



テーマ

**持続可能な山の暮らしを考える  
ワークショップ**  
(未来へつなぐ山の暮らし)

場所

**香美市役所物部支所・2階ホール**  
(香美市物部町大栃1390-1)

※駐車場には限りがございますので、お乗りあわせの上、お越しください。

定員

**30名(予約制) 11/5〆切**

※感染症予防対策を講じた上で開催いたします。

参加費

**500円**



講師

**谷川 徹氏**

カナダCOLTコース終了。教育系民間企業に就職。アジアやラテンアメリカを約2年旅し、約20年前に梶原町移住、地域循環生態系活用型有機的農業を開始。全国の田んぼの生きもの市民調査の実施指導、生物多様性やSDGs、持続可能な地域関連の行政や民間への支援や企画運営を行う。京都産業大学卒。



農と生きもの研究所

SDGsとは?

2030年までに達成すべきとされた、アジェンダ(国際的な課題)の中核をなす17の持続可能な開発目標のSustainable Development Goalsの略です。持続可能な開発とは、長期にわたり豊かさを維持することができる開発のことです。このSDGsは193の国際連合の加盟国、全てが賛成した上で可決されたものであり、全世界で必要とされていることが確実な開発目標です。

●今後の予定



©おかもとあつし

第4回 11月14日(土)10:00~12:30 山の暮らしの目標をつくる  
(地域資源の活用・環境維持・次世代継承など) 参加費 500円

●土佐塩の道

今から約400年前、香南市赤岡町で採れた塩を香美市物部町の奥地まで運んでいた「塩の道」は、生活物資も運ばれた重要な産業道でした。時代とともに廃れた道を、平成14年地元の有志たちがウォーキング道として再生しました。時の流れと先人たちの営みを感じることができる土佐塩の道は、美しい日本の歩きたくなるみち500選、新日本歩く道紀行文化の道100選、文化庁歴史の道100選、香美市有形文化財に認定されています。

お申し込み・お問い合わせ先

【電話】090-7622-1112  
080-5088-8305

(担当:事務局 近藤・萩野)

【e-mail】[tosashionomichi@gmail.com](mailto:tosashionomichi@gmail.com)



土佐塩の道FB



主催 土佐塩の道保存会(公)高知県森と緑の会 こうち山の日推進事業)

塩の道PV